

世界馬術選手権（2026/アーヘン）

障害馬術競技 代表人馬選考基準

＜大会期日 ： 2026 年 8 月 10 日～23 日＞

令和 7 年 1 月 25 日 発表

標記大会の代表人馬は、本基準に従って監督・コーチが推薦し、オリンピック対策会議での審議等を経て決定する。

2028 ロサンゼルスオリンピック障害馬術競技の団体出場権獲得を目指し、実施される競技スケジュールに耐えうるスタミナと屈強な体力・精神力を持ち合わせた人馬をもってチームを編成する。

FEI が定める出場最低基準（以下：MER）取得期間を選考期間とし、全人馬の序列を決め上位から代表 4 人馬と補欠 1 人馬を選考する。

1. 選考方法と基準

- (1) FEI 世界馬術選手権の MER を取得した人馬より選考する。
- (2) 代表 4 人馬と補欠 1 人馬を選考する。
- (3) 2025 年 1 月 1 日～FEI が定める MER 取得期限を選考期間とする。
- (4) MER 取得人馬から監督・コーチが人馬の競技成績及び合宿におけるパフォーマンス、馬匹の健康状態、選手の間力とチームスピリット等を総合的に評価し、全人馬の序列を決め、選考する。
- (5) 同一選手の 2 頭目の馬での成績が、補欠人馬より上位であれば、その選手の予備馬として認定することがある。

2. 選考の対象（以下の項目を全て満たすこと）

- (1) FEI が定める MER を取得し、ナショナルチームメンバーとして認定されている人馬。
- (2) 2026 年 4 月 15 日（水）時点で当該年の JEF および FEI 登録がある選手。
- (3) 2026 年 4 月 15 日（水）時点で FEI パスポートを有し、当該年の JEF および FEI 登録がある馬匹。

3. その他

- (1) MER を取得した選手あるいは馬匹が、強化活動を中断あるいは停止することとなった場合、すみやかに障害馬術本部に報告すること。
- (2) 当連盟が必要と判断した場合は、代表となった馬に対し獣医検査やドーピング検査を実施することがある。なお、診断の結果によっては補欠人馬との入れ替えを行う場合がある。
- (3) 代表となった馬匹がドーピング検査を受けた際、その結果が陽性となった場合は、代表としない。
- (4) 補欠人馬の有効期限は最終エントリーあるいは会場入厩日のいずれか早い期日までとする。
- (5) 代表となった人馬あるいは補欠人馬に負傷・疾病等やむを得ない事情が生じた場合は、次点の人馬を代表ないし補欠に繰り上げる。
- (6) 「JEF ナショナルチームの行動方針」、「JEF 倫理規程」及び JOC の諸規程に反する行為があった場合は、選考の対象から外しチームメンバーの認定を原則取り消す。
- (7) 不測の事態が生じた場合は、本選考基準の見直しを含めて監督が検討し、必要に応じてオリンピック対策会議での審議等を経て改定を行う。